

シラバス一覧

livecampus

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。

戻る

タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			主担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール Ⅰ科目-A3 安全で安心 できる社会	20140586013702	●安全で安心 できる社会 Ⅰ(健康と医 療の安全・安 心)	和	E	西田 孝 洋	1年,2年,3年,4年	後期	火 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール Ⅰ科目-A3 安全で安心 できる社会	20140586014102	●安全で安心 できる社会 Ⅰ(リスク社 会と社会科 学)	和	E	宍倉 学	1年,2年,3年,4年	後期	火 1	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教 養教育 全学 モジュール Ⅰ科目-A3 安全で安心 できる社会	20140586014502	●安全で安心 できる社会 Ⅰ(科学と技 術の安全・安 心)	和	E	林 秀千 人	1年,2年,3年,4年	後期	月 2	～

戻る



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-A3 安全で安心できる社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586013702	科目番号	05860137
授業科目名	●安全で安心できる社会Ⅰ(健康と医療の安全・安心)		
編集担当教員	西田 孝洋		
授業担当教員名(科目責任者)	西田 孝洋		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西田 孝洋,木住野 達也,江藤 宏美,伊藤 公成		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス	koyo-n@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	薬学部薬剤学研究室		
担当教員TEL	095-819-2453		
担当教員オフィスアワー	14：00～18：00		
授業の概要及び位置づけ	健康を維持するために日ごろ意識することが何か、医療とのかかわりを正しく理解するために必要な考え方を身につける。また、健康で安心した生活を送るために医療はどのようなかわりを果たすのかを自ら考え、取り組む意識を育てる。		
授業到達目標	医療とは、人間の健康の維持、回復、促進などを目的とした諸活動を意味する。ここでは、健康の維持と医療との関わりを正しく理解し、説明できる。		
授業方法（学習指導法）	教科書を用いない講義科目なので、種々の資料や教材及び手段（液晶プロジェクターによる映像等）を使用する。また、医療に関わる多様な分野の教員とともに、多様な方法により、「健康と医療の安全・安心」を考える。		
授業内容	回	内容	
	1	遺伝子と遺伝子発現調節（伊藤）（9/30）	
	2	遺伝子発現調節の重要性（伊藤）（10/7）	
	3	「がん」とは何か（伊藤）（10/14）	
	4	がん研究の実際（伊藤）（10/21）	
	5	遺伝子組換え技術（木住野）（10/28）	
	6	遺伝子組換え技術と生物多様性（木住野）（11/4）	
	7	遺伝子組換え技術と医療（木住野）（11/11）	
	8	薬の功罪 1（西田）（11/18）	
	9	薬の功罪 2（西田）（11/25）	
	10	薬害 1（西田）（12/2）	
	11	薬害 2（西田）（12/9）	
		現代社会における子ども・女性・家族の危機①ライフイベントと起こりうる危機（江藤）	

	12	(12/16)
	13	現代社会における子ども・女性・家族の危機②ドメスティックバイオレンスの発生と危機（江藤）（1/6）
	14	現代社会における子ども・女性・家族の危機③生命誕生と新しいメンバーを迎えた家族の危機（江藤）（1/13）
	15	現代社会における子ども・女性・家族の危機④さまざまな葛藤と意思決定支援（江藤）（1/20）
	16	
キーワード	遺伝、遺伝子組換え、家族、女性、子ども、薬の副作用	
教科書・教材・参考書	特に指定しない。	
成績評価の方法・基準等	積極的授業参加態度(40%)、レポート（40％）、小テスト(20%)	
受講要件（履修条件）	特に指定しない。	
備考（URL）	http://www.ph.nagasaki-u.ac.jp/	
学生へのメッセージ	定期考査は実施しないので、毎回の出席は当然ですが、課題の提出などをくれぐれも忘れないようお願いします。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-A3 安全で安心できる社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 1
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586014102	科目番号	05860141
授業科目名	●安全で安心できる社会Ⅰ(リスク社会と社会科学)		
編集担当教員	穴倉 学		
授業担当教員名(科目責任者)	穴倉 学		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	穴倉 学		
科目分類	全学モジュールⅠ科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	shishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部 東南アジア研究所206号		
担当教員TEL	095(820)6396		
担当教員オフィスアワー	火曜日13：00～14：30		
授業の概要及び位置づけ	産業社会の進展による生活水準の上昇の一方で進行したリスク社会の不安や不確実性の克服に社会科学がどのよう に応え、応えようとしているかを経済、経営、法の側面から照射し、学問の現段階を理解する。		
授業到達目標	リスクに対する保険の役割を理解するとともに、私的民間保険と公的社会保険の境界と分担につ いて、経済学のツールを用いて理解できるようになる。また、様々な保険制度が抱える諸課題や 政府等で議論されている社会保障の在り方などについて理解できるようになることを目的とする 。		
授業方法（学習指導法）	講義資料を配布し、同資料に基づき講義を行う。なお、授業の理解を確認するために進捗に応じ てディスカッションやグループ報告を行ってもらふことがある。また、講義中に意見を求めるこ とがあるので、指名された場合は、積極的に発言等を行うよう心がけてもらいたい。		
授業内容	回	内容	
	1	ガイダンス	
	2	様々なリスクと保険の現状 私的保険と公的保険	
	3	高齢化と所得保障①	
	4	高齢化と所得保障②	
	5	健康リスクと医療保障①	
	6	健康リスクと医療保障②	
	7	生活リスクと生活保護①	
	8	生活リスクと生活保護②	
	9	失業リスクと失業保険①	
	10	失業リスクと失業保険②	

	11	少子化と保育保障①
	12	少子化と保育保障②
	13	不確実性の理論①－期待効用
	14	不確実性の理論②－モラルハザードと逆選択－
	15	不確実性の理論③－効率と公平－
	16	これまでのまとめ（定期試験を含む）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は指定しない。下記の文献を適宜参考として利用する。 ・阿部彩・國枝繁樹・鈴木亘・林正義（2008）「生活保護の経済分析」東京大学出版会 ・西村周三（2000）「保険と年金の経済学」名古屋大学出版会 ・村上雅子（2003）「社会保障の経済学（第2版）」東洋経済新報社	
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、授業中に実施するディスカッションや報告レポート40%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	新聞やテレビなどで報道される社会保険関係の記事やニュースを日々チェックするように心掛けるようにして欲しい。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールⅠ科目-A3 安全で安心できる社会**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 2
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140586014502	科目番号	05860145
授業科目名	●安全で安心できる社会Ⅰ(科学と技術の安全・安心)		
編集担当教員	林 秀千人		
授業担当教員名(科目責任者)	林 秀千人		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	林 秀千人,田中 俊幸,久保 隆		
科目分類	全学モジュールⅠ 科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-33		
対象学生（クラス等）	教育,経済,薬学,水産, 多文化		
担当教員Eメールアドレス	hidechto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	工学部流体エネルギー工学研究室		
担当教員TEL	095-819-2516		
担当教員オフィスアワー	月から金8時から8時30分		
授業の概要及び位置づけ	危険や不安に、どう考え、何をなすべきか、どのように対処するのかを学び、危険や不安のない安全・安心な社会の構築に貢献しうる知識と理解を涵養する。モジュール「安全で安心できる社会」の中で、実社会で安全で安心に生活できるような基礎的知識を身につける科目である。		
授業到達目標	安全・安心な社会を構築するためには、目指すべき安全で安心できる社会のイメージを明確にすることが必要です。安全は、普段は見過ごし危険や事故に遭遇したときに意識するものですが、普段の取り組みが重要となります。 本授業では、安全とは何か、安心とは何かについて、「災害・事故からの社会システムの安全・安心（科学と技術の安全・安心）」の観点から、自ら努力をして維持することが重要であることを認識するとともに、日常意識をどのように保てばいいのか、自らが考えることで安全・安心が実現できることを理解することが目標です。		
授業方法（学習指導法）	基本的な事項について、講義により学習をする。さらに、テーマをもとに、みんなで安全・安心について考えて意識を高める。 安全・安心に関する提案を発表する。		
	人間が安全で快適な生活を送るために、科学技術の発展が図られてきた。一方で、個人などでは処理できないさまざまなシステムが働いている。その中で、安全を維持し安心を図るために必要な基本的な考え方を習得するとともに、組織の中で個人が取り組む安全・安心の意識を育てる。 ・社会では様々な事故が発生し、貴い命が失われることも多い。そのような事故が起こらないように安全を確保することが重要である。そのためには何が重要かを事故の事例とその原因を考えながら学習する。 ・長崎の豪雨災害をはじめ、これまで発生した災害を教訓に日本各地で防災の都市づくりが進められている。国や自治体レベルで行われている施策を学び、さらに災害が起こったときの備えについて学習する。 ・身のまわりの電気機器や電磁波を中心に、目に見えないものが身体へ及ぼす影響について、安全をどうとらえ、安全安心へどのように取り組まれているかを紹介し、安全安心を考える。		

・身のまわりのさまざまな物質に関して、安全を確保するための規制や法律等さまざまな考え方をもとに、安全への取り組みを紹介し、安全安心を考える。する。

回	内容
1	第1回 安全と安心の基本的な考え方について(林)
2	第2回 災害とリスクマネジメントについて(林)
3	第3回 安全文化について(林)
4	第4回 事故の事例と原因紹介(林)
5	第5回 安全安心の意識調査(田中) 安全安心に関する提案のグループ分け
6	第6回 安全・安心に関する法律(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ 1
7	第7回 電気に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の打ち合わせ 2
8	第8回 安全安心に関する提案の発表会(田中)
9	第9回 電磁波に関する安全安心(田中) 安全安心に関する提案の総評
10	第10回 自然災害と安全・安心 その1(高橋)
11	第11回 自然災害と安全・安心 その2(高橋)
12	第12回 自然災害と安全・安心 その3(高橋)
13	第13回 化学物質の安全・安心 その1(久保)
14	第14回 化学物質の安全・安心 その2(久保)
15	第15回 化学物質の安全・安心 その3(久保)
16	

授業内容

キーワード	科学技術の安全、システムの安全と安心、安全文化と安心
教科書・教材・参考書	安全・安心工学入門（古今書院）、必要に応じて資料を配布する。一部Web上に資料を公開する。 .
成績評価の方法・基準等	レポート,発表, 講義の理解度により総合的に評価する
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	特に理由がない限り、講義に全回出席して下さい。オムニバスの講義なので、質問などは担当の教員に直接するようにお願いします。

